

交通事故発生状況

1. 山口県下の事故

(2月20日現在)

区分	発生(件)	死者(人)	傷者(人)	物損(件)
55年の累計	717	25	860	
54年の累計	829	22	1,017	
増減	数	-112	3	-157
	比率	-13.5	13.6	-15.4

2. 長門警察署管内の事故

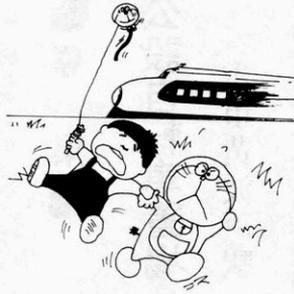
区分	発生(件)	死者(人)	傷者		計	物損	
			重傷(人)	軽傷(人)			
55年の累計	19	3	2	20	22	79	
54年の累計	14	0	1	20	21	76	
増減	数	5	3	1	0	1	3
	比率	35.7	1	100.0	0	4.8	3.9

飲酒運転は絶対ダメ!

＝死亡事故が多発＝

昨年山口県は、十年連続交通事故死者減少という輝かしい記録を達成したわけですが、今年に入って死亡事故があいついで発生しており二月二十日現在の死者数は、昨年同期に比べ三人も増えています。特に長門署管内では、昨年一年間で三人の方が交通事故で死去されておりますが、本年は二月二十日現在で昨年と同数の人がなくなっています。本年の事故は、いずれも夜間によるスピードの出しすぎというのがその特徴です。交通事故は、みんなの不幸をまねきます。運転者も歩行者も一人一人が注意して、私たちの町から不幸な交通事故をなくしましょう。●夜間、特に雨降りの場合は、ライトの光がアスファルトの路面に吸収されて前方が見えなくなることもあります。スピードは控えめに。◎飲酒しての運転は絶対にやめよう。

特に、線路への置石、置物、列車に対する投石及び踏切非常ボタンの乱用等は、十四歳未満の幼児のいたずらが圧倒的に多く、踏



山口県の五十四年交通事故死者数は、関係機関の取締り強化と県民の理解と協力により、連続十年減少の偉業を達成しましたが、国鉄では安全輸送を脅かす鉄道妨害は、年々増加の傾向を示しています。

重大線路事故が多発しています

3月17日～4月5日「線路にはいらぬ運動」

切事故については、一時停止や安全不確認及び警報無視等の悪質な原因が主で、昨年は、鉄道妨害により四十九名の死傷者が発生しました。このような痛ましい事故をなくすため、国鉄では例年六月に実施していましたが「線路にはいらぬ運動」を、今年は妨害の多発する三月十七日から四月五日までの間実施することになりました。国鉄の安全輸送のために、常日頃から次のことを守るよう、家族

(昭和54年)

妨害種別	新幹線	山陽本線	岩徳線	岩日線	山口線	宇部線	小野田線	山陰本線	美祿線	計
踏切事故		41	4		4	9	5	5	2	70
置石、置物	1	30	7		8	8	2	4		60
線路立入	1	22	2	2	7	5		4	1	44
踏切非常ボタン乱用		6	2				2	1		11
投石等		4								4
計	2	103	15	2	19	24	8	13	3	189
前年同期	8	79	11		18	31	6	15	5	173

○年令別区分表

妨害種別	年令別	5歳以下	6～8歳	9～11歳	12歳以上	計
置石・置物		17	28	5	10	60
線路立入		5	14		28	47
投石等		1	2			3
計		23	44	5	38	100
前年同期		32	33	13	28	106

- ◎線路の中には絶対にはいらないようにしましょう。
- ◎レールの上に石や物を置かないようにしましょう。
- ◎列車に石や物を投げないようにしましょう。
- ◎線路の近くでタコあげをしないようにしましょう。
- ◎踏切りでは、必ず止まって列車のこないことを確かめてから渡りましょう。

みんなで心がけましょう。